

第5章 北区が目指す公共交通の将来像

前章までに整理されたこれまでの取り組みの評価、課題を踏まえ、上位計画である「にいがた都市交通戦略プラン」及び同計画の公共交通分野の実施計画である「新潟市地域公共交通計画」の基本的な方針に基づき、目標及び基本方針を定めました。

1. 目標

「北区区ビジョンまちづくり計画」の将来像である「潟と大河と日本海、水の恵みに生まれ、人と人がつながり、心豊かに支え合い、発展するまち」を目指し、地域との協働のもと、利便性があり持続可能な生活交通網の構築を図ります。

2. 基本方針

①持続可能な公共交通の実現を目指し取り組みます

- ア 区バス・住民バス（おらってのバス）・エリアバス×タクについて運行計画を継続的に見直します。
- イ 区バス・住民バス（おらってのバス）・エリアバス×タクについて収支率の向上に努めます。

②地域に即した公共交通を地域とともに検討します

- ア デマンド交通などの社会実験について、住民団体・地域コミュニティ、区内交通関係者等と意見交換を行い、地域に即した公共交通を目指します。
- イ 随時、住民団体立ち上げ支援や情報提供を行い、公共交通を利用しにくい地域の取り組みについて、協働で取り組みます。
- ウ 病院等の目的バスと連携するなど、さまざまな地域資源の活用を検討し、意見交換を行います。

③公共交通の利用促進・情報発信に取り組みます

- ア 「わかりやすく、見やすく」を目指し、北区公共交通に関する情報を発信し、公共交通の利用促進に努めます。